

# 目次

SORACOM Harvest ADC demo

1

【構成】

1

【動作モード】

1

【動作モード切替方法】

2

【データ送信方法】

2

【定期送信】

3

☐SORACOM Lagoon☐

3

【ファームウェアダウンロードページ】

4

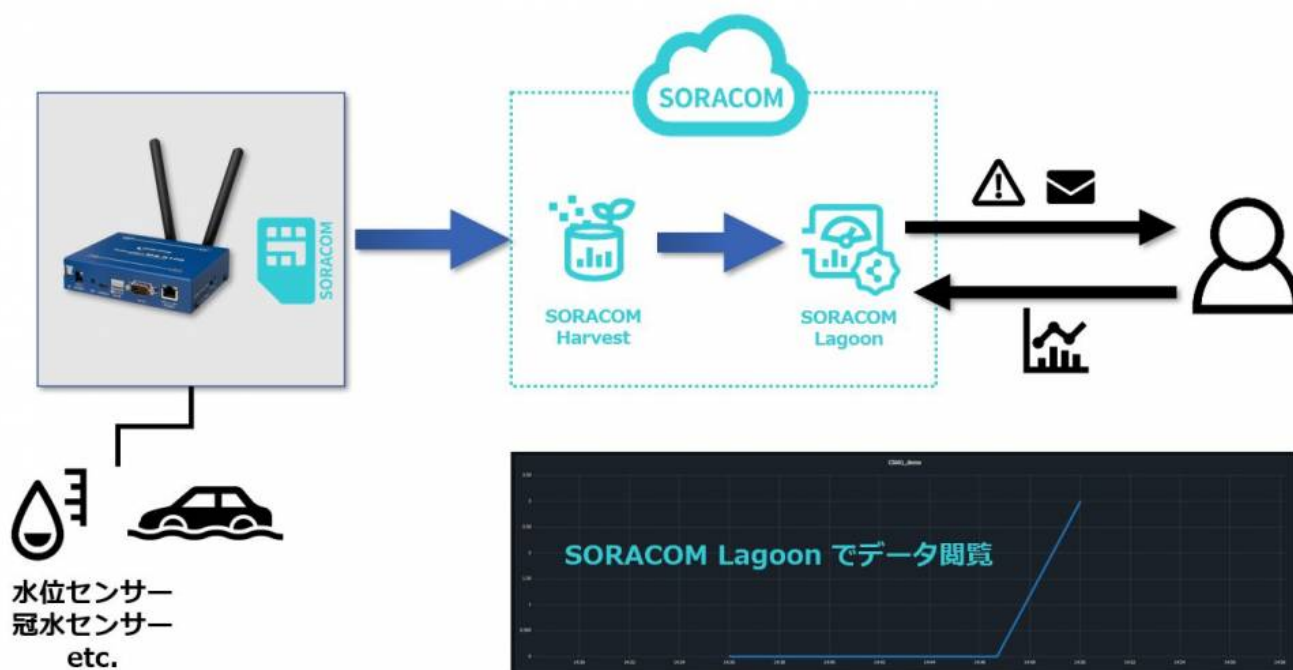


# SORACOM Harvest ADC demo

シャットダウン状態から定期的(通常：1日□DI on□10分)に起動し、AD 変換結果を **SORACOM 回線** を経由して **SORACOM Harvest** へアップロードする**ファームウェア** です。

**SORACOM Harvest** でアップロード後、**SORACOM Lagoon** で可視化を行います。また、**SORACOM Lagoon** のアラーム設定により、閾値を超えた場合、メール□SNS等に発信します。

## 【構成】



## 【動作モード】

DIPスイッチで動作モードを切り替えます。

稼働モード□**Alpine Linux**で動作)

- データ送信を行います。
- データ送信以外はスリープし、省電力化を図ります。

メンテナンスモード□**Ubuntu Linux**で動作)

- データ送信は行いません。
- 機器設定やログの確認が可能です。

## 【動作モード切替方法】

### メンテナンスモード      稼働モード

- 1.DIPスイッチの“3”を“ON”にしてください(DIPスイッチを下げてください)。  
下記写真を参照願います。



- 2.機器の再起動を行います。

### 稼働モード      メンテナンスモード

- 1.DIPスイッチの“3”を“OFF”にしてください(DIPスイッチを上げてください)。  
下記写真を参照願います。



- 2.OPTスイッチを押下してください。  
下記写真を参照願います。



## 【データ送信方法】

稼働モード時、下記起動方法でMA-Sを起動させてデータ送信を行います。

1. 定期送信（定期的に起動してデータ送信）
2. SMS受信（強制的にスリープ状態から起動させてデータ送信）

### 3. OPTスイッチ（強制的にスリープ状態から起動させてデータ送信）

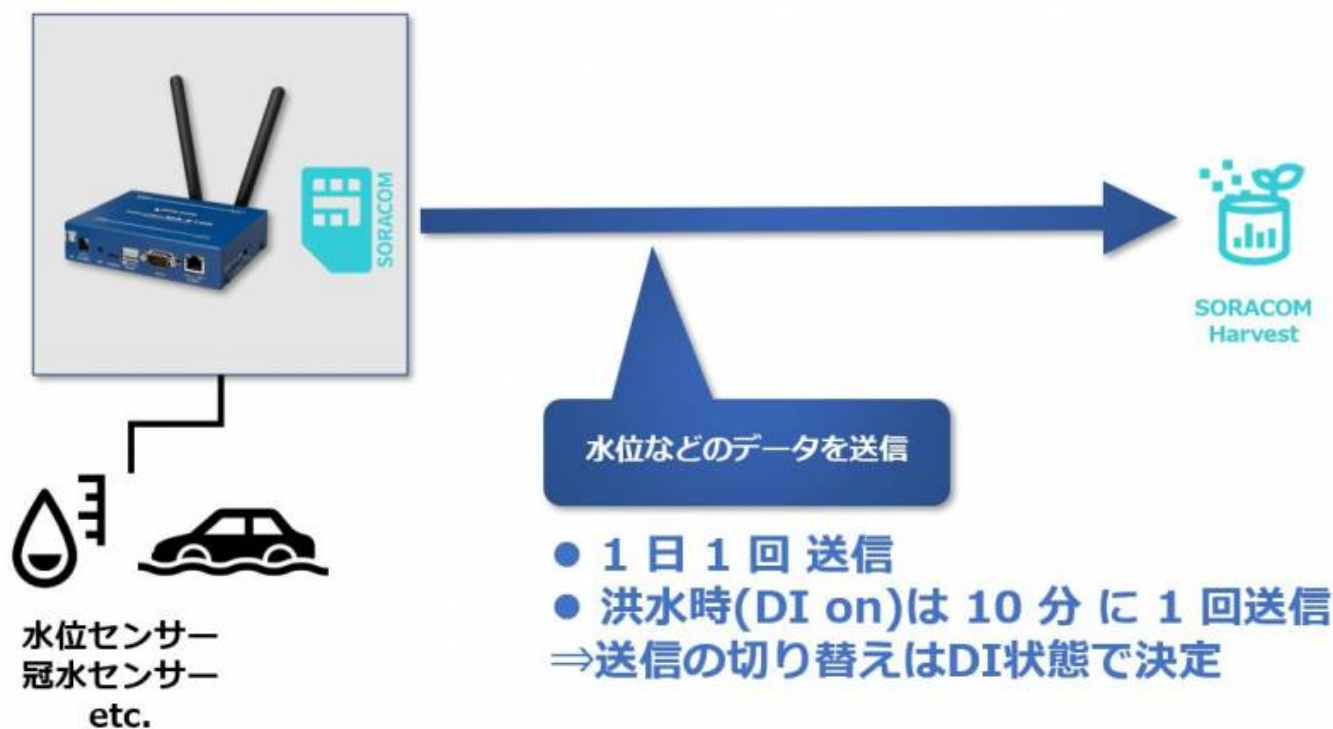


## 【定期送信】

送信間隔により [SORACOM Harvest](#) にADC値を送信します。  
送信間隔は下記の通りです。

- 通常：1日1回
- 洪水時(DI on時)：10分に1回

□→DI状態を取得して、送信間隔を決定



## □SORACOM Lagoon□

[SORACOM Harvest](#) に届いたADC値を[SORACOM Lagoon](#) で計算を行い、水位に変換します。  
水位に閾値を設定することにより、メールやLINE等のSNSでアラートとして発信することが可能です。



SORACOM Lagoon



## 【ファームウェアダウンロードページ】

[こちら](#)からファームウェアをダウンロードしてください。

☐SORACOM Harvest ADC demo firmware☐に記載されているファームウェア☐HarvestDemo\_v\*\_\*\_\*.img☐が今回のファームウェアです。

ファームウェアの更新方法は[こちら](#)を参照してください。

From:

<https://ma-tech.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi

Permanent link:

[https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mas1xx\\_tips:soracom\\_harvest\\_demo\\_firm:start&rev=1655978280](https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mas1xx_tips:soracom_harvest_demo_firm:start&rev=1655978280)

Last update: 2022/06/23 18:58